

第4節 作目別の振興方向

1 野 菜

福岡市の都市型農業の中心的な作物として、施設の整備による生産拡大や、機械化等の導入による省力化を図ることにより、収量・品質の向上や低コスト化を推進し、収益性を高め、安全・安心な市内産野菜の消費拡大・地産地消及びPRに努めます。

（1）施設化・機械化及びAI・IoT等を活用したスマート農業の推進

園芸ハウスの整備や機械化等の推進により省力化・省エネルギー化を行い、収量・品質の向上や低コスト化を図ります。また、生産性の向上を図るため、環境制御技術などの先端技術の実証を行うとともに導入を進めていきます。

（2）野菜の安定供給及び消費拡大

生産安定事業を引き続き実施し、安定供給と経営の安定を図るとともに、イベントや市政により、ホームページ、SNSなどの広報手段を活用し、最新情報や魅力など福岡市の農や食に関する情報を発信することにより、新鮮な市内産野菜のPRと消費拡大・地産地消に努めます。

（3）安全・安心な野菜の供給

作物の安全性の向上などの農業生産工程管理（GAP）への取組み等を推進することにより、安全・安心な市内産野菜の信頼性の確保を図るとともに、将来的に持続可能な農産物の供給の実現に努めます。また、温度管理可能な密閉式の定温卸売場の充実によりコールドチェーンに対応した青果市場「ベジフルスタジアム」を通して、高度な品質管理等により安全で安心な野菜を市民へ供給します。

主な生産物	主な地域（農業振興地域が指定された地域）
ほうれん草	入部、内野、今宿
ブロッコリー	入部、金武、壱岐、今津、周船寺
小松菜	今津、元岡
いちご	志賀、金武、今津、周船寺、元岡、北崎
すいか	北崎
しゅんぎく	入部、内野、元岡
キャベツ	入部、周船寺、北崎
かぶ	金武、北崎
トマト	元岡
だいこん	金武、北崎



いちご



だいこん

2 花 き

野菜とともに福岡市の都市型農業の中心的な作物であり、消費者ニーズを反映した高品質・高付加価値な生産を推進するとともに、PR 活動や教育現場での花育などにより、市内産花きの消費拡大に努めます。

（１）高品質・高付加価値な花きの生産

施設の整備を推進し、高収量・高品質化や省力化等を図るとともに、価格安定対策に努め、効率的で安定した生産の確立に努めます。

花きの流通に関する情報収集に努め、市場評価の高い花きの需要に応じた計画出荷を推進します。

農協や市場等と連携し、特色ある優良品種の導入やブランド化を推進することにより、産地間競争に負けない花づくりに努めます。

（２）市内産花きの PR 活動・消費拡大

実際に花に触れることで花きの魅力を伝え、関心を高める花育推進事業や、イベント開催時における花きの PR 活動を行うなど、積極的に市民への情報発信を行うことで、市内産花きの消費拡大に努めます。また、海外への販路拡大に向けた、市内産花きの海外プロモーション事業に取り組んでいきます。

主な生産物	主な地域（農業振興地域が指定された地域）
ユ リ	北崎
フ リ ー ジ ア	
カーネーション	
トルコギキョウ	
ガ ー ベ ラ	
菊	
ス ト ッ ク	元岡、北崎
バ ラ	



バラ



トルコギキョウ

3 水 稻

福岡市の全作付面積の約67%を占める中心的な作物であり、市民の主食であり食文化の基礎でもあることから、消費者のニーズを踏まえた安全・安心で品質に優れた米作りを推進します。

（1）消費者ニーズに応える米作り

市民の主食である米の安定的な生産と供給を図るとともに、消費者のニーズを反映した、高品質で食味の良い米作りを推進します。

（2）大消費地を活かした販売

各種イベントによるPRや生協など大口顧客との連携を推進するとともに、学校給食への供給や消費者との交流会などによる市内産米の理解促進を図り、地産地消の拡大に努めます。

（3）環境に配慮した米作り

減農薬・減化学肥料栽培、畜産堆肥・緑肥の活用等により環境負荷を低減し、地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果の高い米作りを推進します。

（4）作業の効率化と生産コストの削減

高齢化に伴う農業者の減少に対応しながら稲作が継続的に実施できるよう、トラクター等の農業機械の共同利用や、ライスセンター等の共同施設の活用を促進するとともに、地域の担い手等による作業の受託組織づくり、農地の集積を支援し、作業の効率化と生産コストの削減を図ります。

（5）主食用米の生産調整

米価の安定には需要に応じた生産が必要であるため、主食用米の需要減に対しては、生産者の経営安定に資する作物への転作を図ります。また、過剰な米の生産抑制や、米以外での水田の有効活用により、米価の安定化と生産者の経営安定を図ります。

主な生産物	主な地域（農業振興地域が指定された地域）
米	入部、脇山、内野、金武、壱岐、今宿、今津、周船寺、元岡、北崎
麦	壱岐、周船寺、元岡



米

4 果 樹

果樹については、省力・低コスト技術の導入を推進するとともに、農薬の効率的な使用や生物防除策を取り入れることにより、安全・安心への取組みを推進します。

また、直売所の活用や加工品開発などによる販路の拡大を図るとともに、観光農園の推進など経営の多角化を推進します。

（1）かんきつ類・びわ

志賀、能古、北崎など準無霜地帯に産地が分布する「かんきつ類・びわ」については、従事者の高齢化に対応するため、担い手への樹園地の集積、剪定による低木化、除草省力化のための園地草生栽培や省力栽培品目の導入を推進するとともに、加工品開発などによる販路の拡大を推進します。

（2）ぶどう

金武、今宿、席田などに産地が分布する「ぶどう」については、省力化を行うとともに適正管理による高品質生産を推進します。また、消費者ニーズに対応した高付加価値品種の導入に努めるとともに販路の拡大を図ります。

（3）果樹経営の多角化

地域の魅力を高める特産物を育て、直売所での販売、もぎとり園やオーナー制度など観光農園としての経営を推進するとともに、地域の観光・飲食業など他産業との連携強化を図ります。

主な生産物	主な地域（農業振興地域が指定された地域）
甘 夏 柑	志賀
ぶ ど う	金武、今宿
び わ	志賀
い ち じ く	金武、周船寺



甘夏柑

5 畜 産

畜産については、都市部と調和のとれた畜産業の振興を図るため、周辺環境への影響低減を推進するとともに、家畜排せつ物の有効利用による資源循環型畜産や、安全で良質な畜産物の安定的な生産を推進します。あわせて畜産業に対する市民の理解促進、消費拡大に努めます。

（１）環境に配慮した畜産の推進

生産施設の臭気対策等の促進により、周辺環境に配慮した畜産の推進に努めます。

（２）耕畜連携による資源循環型畜産の推進

良質な堆肥の生産を進め、稲わらと堆肥の交換等による耕種農家の堆肥利用を促進し、資源循環型畜産の推進に努めます。

（３）安全で良質な畜産物の安定的な生産

国産自給粗飼料の品質向上、畜舎における衛生対策の徹底等により、安全で良質な畜産物の生産を推進します。また、家畜伝染病の対策として、農家に対し日常の予防対策の啓発を行うとともに、関係者との情報共有や連携強化により、万一の発生に備えた初動防疫体制づくりに努めることで安定的な畜産物生産を推進します。

（４）畜産経営の安定

施設整備等を推進し、生産性及び収益性の向上を図るほか、国産自給粗飼料の生産拡大、耕畜連携による飼料用米の稲わら利用や WCS 用稲の作付を推進し、生産コストの低減を図ります。

（５）畜産業に対する市民の理解促進・消費拡大の推進

各種イベントによる PR や油山牧場における家畜とのふれあい体験等により、市民の理解促進と消費拡大を推進します。

主な生産物		主な地域（農業振興地域が指定された地域）
牛	乳	入部、脇山、内野、元岡
肉	用 牛	今宿、元岡
鶏	卵	北崎

